

木材運搬車、空荷で走行 ステッキ外れ事故！

1 事案の概要

平成30年7月30日(月)午後0時35分頃、浦幌町温根内74番先で、木材運搬車(40歳代男性運転)が空荷状態で、ステッキを立てたまま走行し、道路の凸凹で立てていたステッキが1本飛び出して、道路脇で農作業をしていた60歳代の男性の足にあたり、骨折をする重傷を負わせた。

(イメージ写真)



2 木材運搬車は、空荷状態で走行する時は、ステッキが飛び出して人や他の車に危害を加える恐れがあります。

過去にも、ステッキが落下する事故が発生しており、昨年3月には、当協会の木材・チップ部会長名で各木材・チップ輸送事業者宛に、空荷状態での走行時、ステッキの折りたたみの徹底等安全対策について依頼文書を発出しておりますので、ステッキによる事故防止の安全対策の再徹底をお願いします。

運転中「あ・い・う・え・お」の撲滅！

～あせり・いかり・うっかり・エゴ・おごり～